

## 群馬県の「旅館の客室稼働率」は全国上位

～近年はビジネスホテルも上位に近づきつつある～

- 観光庁の宿泊旅行統計調査によれば、過去10年（2011年～2020年）において本県の客室稼働率は全国平均をほぼ下回ってきたが、宿泊施設タイプ別でみると旅館は上回ってきた（図表1）。（なお、20年はコロナ禍の影響により、地域、タイプを問わず客室稼働率は大幅に低下している。）
- 本県の宿泊施設タイプ別客室稼働率の全国順位推移をみると、旅館は上位を維持しており（20年8位）、近年はビジネスホテルも上位に近づきつつある（同年16位）（図表2）。本県のビジネスホテルの客室稼働率が上昇してきた要因として、県内で大型施設<sup>（注1）</sup>の建設が相次ぎ、建設関係者の宿泊が増加したことや、施設完成により施設利用者の宿泊需要が創出されたことなどが考えられる。
- 客室稼働率は、宿泊施設の経営状況を判断する上で重要な指標の一つである。今後、コロナ禍の収束に伴う観光及びビジネス需要の回復による、本県の客室稼働率上昇が期待される。

図表1 群馬県の客室稼働率と全国平均との比較（宿泊施設タイプ別、11年～20年）<sup>（注2）</sup>

（群馬県・全国平均…％、差…ポイント）

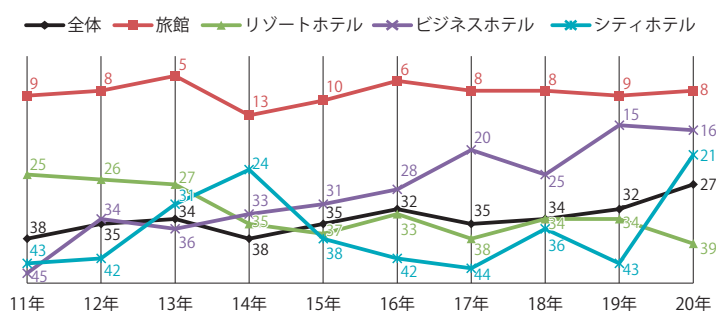
	全体			旅館			リゾートホテル			ビジネスホテル		
	群馬県	全国平均	差	群馬県	全国平均	差	群馬県	全国平均	差	群馬県	全国平均	差
11年	43.8	51.8	-8.0	39.0	34.7	4.3	43.8	46.8	-3.0	52.6	62.3	-9.7
12年	45.7	54.8	-9.1	41.4	35.5	5.9	44.3	48.0	-3.7	58.9	67.3	-8.4
13年	46.1	55.2	-9.1	42.5	33.4	9.1	43.6	52.3	-8.7	61.0	69.5	-8.5
14年	46.2	57.4	-11.2	40.2	35.2	5.0	40.3	54.0	-13.7	65.3	72.1	-6.8
15年	50.3	60.3	-10.0	44.7	37.0	7.7	41.3	56.0	-14.7	67.6	74.2	-6.6
16年	51.0	59.7	-8.7	44.1	37.1	7.0	43.7	56.9	-13.2	69.3	74.4	-5.1
17年	51.1	60.5	-9.4	44.3	37.5	6.8	43.9	57.5	-13.6	73.4	75.3	-1.9
18年	51.8	61.2	-9.4	45.3	38.8	6.5	46.9	58.3	-11.4	71.6	75.5	-3.9
19年	54.1	62.7	-8.6	46.3	39.6	6.7	47.2	58.5	-11.3	75.2	75.8	-0.6
20年	34.7	34.3	0.4	29.7	25.0	4.7	25.9	30.0	-4.1	49.7	42.8	6.9
	シティホテル											
	群馬県	全国平均	差									
11年	51.7	67.1	-15.4									
12年	53.8	72.5	-18.7									
13年	63.9	75.7	-11.8									
14年	69.4	77.3	-7.9									
15年	64.2	79.2	-15.0									
16年	62.2	78.7	-16.5									
17年	62.3	79.5	-17.2									
18年	68.7	80.2	-11.5									
19年	63.0	79.5	-16.5									
20年	41.6	34.1	7.5									

【資料】観光庁「宿泊旅行統計調査」より当研究所作成。

【注1】高崎アリーナ（17年4月オープン）、高崎芸術劇場（19年9月オープン）、Gメッセ群馬（20年6月オープン）など。

【注2】簡易宿所及び会社・団体の宿泊所分は表示していないが、全体の数値にはこれらの分も含む（また、宿泊施設タイプ不詳も含む）。現行基準となった11年から表示。

【注3】都道府県を客室稼働率が高い順に並べた場合の群馬県の順位。他の都道府県との同率順位を含む。

図表2 群馬県の客室稼働率の全国順位推移（宿泊施設タイプ別、11年～20年）<sup>（注3）</sup>

## 【一口メモ】

観光庁「宿泊旅行統計調査」は、わが国の宿泊旅行の全国規模の実態等を把握し、観光行政の基礎資料とするもので、毎月調査・公表されている。主な調査事項として、各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数等がある。

## 【用語の定義】

**宿泊施設**：旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設。

**旅館**：和式の構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる営業で、簡易宿所以外のもの。

**ホテル**：洋式の構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる営業で、簡易宿所以外のもの。

**リゾートホテル**：ホテルのうち行楽地や保養地に建てられた、主に観光客を対象とするもの。

**ビジネスホテル**：ホテルのうち主に出張ビジネスマンを対象とするもの。

**シティホテル**：ホテルのうちリゾートホテル、ビジネスホテル以外の都市部に立地するもの。

**簡易宿所**：宿泊する場所を多数の人で共用する構造及び設備を主とする施設を設け、宿泊料を受けて、人を宿泊させる営業のもの。

**客室稼働率**：利用客室数を総客室数で除して算出したもの。

(担当：稲田純也)